



1. 新教頭 挨拶

このたび、帝京ロンドン学園の教頭として着任いたしました。謹んでご挨拶申し上げます。

伝統と格式を誇る本学園において、海外という特別な環境の中で、日本と世界をつなぐ教育の一端を担えることに、大いなる責任と同時に深い喜びを感じております。異文化理解と多様性がますます求められる現代社会において、生徒一人ひとりが自らの可能性を信じ、豊かな感性と国際的視野を養えるよう、教職員一同と連携しながら誠心誠意努めてまいります。また、現地の文化や教育環境に敬意を払い、これまで培ってまいりました教育経験を活かし、本校の理念に基づいた教育の質のさらなる向上に貢献してまいります。



今後とも、保護者の皆様並びに関係各位におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2. 後期始業式（教務部より）

9月29日(月)、後期始業式を行いました。後期からは新たに1年生に転入生が5名加わり、新しいメンバーでのスタートとなりました。また、後期生徒会執行部の任命、各種表彰が行われました。前期の終わりには成績が通知されました。節目というものはとても大切で、成長するチャンスです。前期の振り返りを活かして、後期では気分新たにスタートしてほしいと願っています。

3. JAPAN 祭り・遠足（渉外課より）



本校では、ロンドン中心部のトラファルガー広場で開催された「Japan 祭り」に全校生徒で参加してきました。当日は、本校一期生が制作して、代々受け継がれてきた神輿を担ぎ、のぼり棒を掲げながら、「ワッショイ、ワッショイ」という元気な掛け声とともに広場を一周し、日本文化の魅力を力強く発信しました。舞台では太鼓や空手などの文化紹介が行われ、広場には多彩な屋台が並び、生徒たちは日本食を味わいながら、楽しく交流を深めることができました。

祭りの後は、サウスケンジントン地区にあるヴィクトリア&アルバート博物館、自然史博物館、科学博物館をそれぞれ訪れ、各施設の展示を見学しました。生徒たちは、芸術・自然・科学の分野に触れ、学びを深める貴重な機会となりました。



4. クリケット体験・クリケット試合観戦（保健体育科より）



学園の教育方針の一つに「スポーツ体験を通して心身を鍛える」があります。そのため、毎年イギリス発祥のスポーツに取り組んだり、試合を観戦したりしています。

今年はイギリス発祥で競技人口が世界第二位の種目「クリケット」に体育の授業で取り組み、プロの試合を観戦に行きました。学園には幼少期よりクリケットを愛好してきた現地スタッフたちがたくさんいるため、今回はスペシャルコーチとしてセキリティーの2人が生徒にクリケットを教えに来てくれました。



5. キングスカレッジ(Kings College of London)オープンキャンパス 参加生徒の感想

Introduction of the Visit

私たちは、課外学習でキングスカレッジのツアーに参加しました。ツアーでは、在校生のガイドさんに校内を案内してもらいました。カレッジ内の聖堂や、食堂に案内して頂き、在校生の方に質問をする機会も設けてもらいました。（Ko1）

UK Universities compared to Japanese Universities

キングスカレッジでは、評価にエッセイやプレゼンが重視され、試験だけでなく多様な方法を選ぶのが特徴です。日本の大学は筆記試験中心で、評価方法の幅は比較的限られています。また、イギリスでは少人数の討論やセミナーが多く、学生の主体性を重んじています。一方、日本の大学は大人数での講義が主流で、受動的な学びになりやすい傾向があります。学生が各々専門分野について学び、研究をしている点は一致しています。（Ko1）



What would it be like to study there?

I think it would be hard studying in King's College London. I have 3 reasons. The first reason is that English is a little hard for me. I can speak English and write a little bit, but during the campus tour, it was hard to understand most of what they were saying. I guess I'd get used to it, but it would be hard at first.

The academic level of KCL is pretty high and it sounded hard to study at this university. I think I'd have to make sure I have strong academic knowledge and academic English skills to attend classes and take part in seminars. I'd need to prepare a lot, maybe more than other students.

Finally, as long as my language skills were good and I was proactive, I think KCL would offer the chance to meet people from around the world and hear different perspectives or ideas. London is an exciting multi-cultural city so there would be a lot to do when I wasn't studying. I think it would be hard, but it would definitely be a very different experience to studying at university in Japan. （Ko1）

6. 各コースより

サッカーコース

Football シーズンが始まり、Tactic league の第 1 節で Complete Academy と試合をしました。本校生徒は 2 名がスタメンに選ばれ、1 名はフル出場しました。また、途中出場した 3 名のうち 2 名がゴールを挙げ、チームの勝利に貢献しました。日本では経験できないような同年代のプレーヤーと一緒にサッカーをすることで、技術面以外でも多くのことを学べるよう様々な活動をしています。チーム一丸となって、これから続くリーグ戦に挑んでいきます。



アートコース

夏休みが明け、新しい美術室での授業が始まりました。これまでよりも明るく広々とした環境の中で、生徒たちはこれまでと変わらず意欲的に取り組んでいます。

高校 1 年生は、夏休み明け最初の課題として「仮面制作」に挑戦しています。イタリア研修旅行にちなみ、仮面の文化や歴史を学びながら、独自のデザインを考えています。また ISCA による授業では、編み物を習いました。

高校 2 年生はいよいよ IGCSE 試験に向けた準備が本格化してきました。今年度のテーマは“Sheltered”に決まり、自分の解釈をもとに制作に取り組んでいます。

高校 3 年生は進路に応じて課題に取り組んでいます。美術大学を目指してデッサンに励む生徒や、従来の授業を継続して深めている生徒など、生徒 1 人 1 人が自分の目標に向かって努力をしています。



7. 寮便り

9月1日の帰寮日を経て、学園寮にまた、にぎやかなムードが帰ってきました。これから寒さと暗さが日に日に押し寄せてきますが、皆で力を合わせて、12月の冬休みまで盛り上げていきたいと思っています。寮キャプテンたちは、英国で過ごす醍醐味を多くの寮生が味わうことができるよう、いろいろなイベントを企画してくれています。今回は、英国一の名門校とも言われる Eton 校の文化祭に参加してきた寮生からの感想を紹介します。

この前行った地元のお祭りみたいでした！ Eton の生徒や現地の人たちが、いろいろな食べ物や雑貨、アクセサリを売っていて、その場にいるだけで楽しかったです。帰ってきてから、とってもローカルな経験だったなあって感じました。



8. 英語科 久保満理先生より退職のご挨拶



学園が創立された1989年は、私が前任校で勤務を始めた年でした。前任校の同僚から新しい学校ができたので、一緒に見学に行かないかと誘われ、この学園を初めて訪れました。木々の緑のトンネルを通して、こんな自然の中に学校があるのに驚きました。車を持っていなかった私は、「絶対こんな郊外に住めない！」と思ったのに、あれから35年が経ちました。

帝京ロンドン学園での仕事は本当に楽しかったです。課外学習計画は一年前から始めないといけなかった前任校から、明日の午後生徒を近所の公園に花見に連れて行きましょう、という学校に移ってきたのですから。教室をどこにでも移動することができる理想的な教育の現場は、この学園以外他にありません。

今では1期生は51歳になり、卒業生の子供たちがこの学校に入学する時代になりました。私も老眼鏡が必要となり、女子生徒の黄色い声が聞こえにくくなりましたが、心はいつも高校生と同じように感じています。皆さんの笑顔がいつも私を幸せな気持ちにしてくれました。これまで同僚の先生方にも本当にたくさん支えていただきました。

35年間に帝ロンで出会った皆さん全員に心より感謝しています。本当にありがとうございました。これまで800人以上の生徒を、「行ってらっしゃい」と言って送り出してきた私ですが、今日は初めて「行ってきます！」。

